

## 会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会
開催日時	令和元年11月28日(木) 13:30~14:30
開催場所	飯塚市役所 本庁2階 多目的ホール
出席委員	中村委員、城石委員、上田委員、小松委員、松浦委員、西園委員、田中委員、高山委員、土居委員、金子委員、渡辺委員、藤田委員
欠席委員	吉野委員
事務局職員	市民環境部：永岡秀作 医療保険課：手柴英司、中村達也、井上尊之、坂田和代、山本幸次郎 税務課：長尾恵美子、瓜生敦之
会議内容	<p>1 開 会</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 国民健康保険税の改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 令和2年度以降の税率改正の審議においては、平成29年度本協議会答申を踏襲し、「標準保険料率(3方式)を参考に事業運営に支障がなく、かつ被保険者の負担増にならない適正な税率の算定」及び「税率は市民生活を考慮し、特別な事情がない限り2年間据え置くこと」を基本方針とした。</li> </ul> <p>(2) 飯塚市国民健康保険の運営状況(平成30年度及び令和元年度)ならびに運営見通し(2年度及び3年度)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 飯塚市国民健康保険特別会計の平成30年度単年度収支決算においては、3億2,502万円の黒字であり、30年度、令和元年度の2年間では、1億7,629万4千円の黒字(余剰金)を見込む。</li> <li>➤ 令和2年度及び3年度の2年間を通じた会計収支は5億1,792万9千円の赤字の見込みとなり、前出の余剰金約1億7,629万4千円を加味した結果、3億4,163万5千円の赤字の見込みとなる。なお、2年度及び3年度会計収支については、一人当たり医療費及び被保険者数の見込みの推計値及び令和元年度の現行税率を用いて市独自に試算を行った。</li> <li>➤ 令和2年度及び3年度の財源不足については、元年度末の国民健康保険給付費等準備基金残額(見込み)で賄える額であるため、現行の税率を維持する方向で検討を進める。</li> </ul> <p>(3) 今後のスケジュールについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 1月上旬には、県から確定した納付金及び標準保険料率が市町村</li> </ul>

	<p>に示される予定となっており、これをもって、次回協議会にて保険税率の改正についての方向性を見定める予定。</p> <p>(4) その他について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 特定健診 2 次健診（アルブミン尿検査）の実施状況報告。2 次健診とは糖尿病性腎症を早期発見・予防するために尿中に漏れ出すアルブミンの有無を検査するもの。</li> </ul> <p>11 月 13 日判明分で特定健診受診者が 5,351 名で、うち 2 次健診対象者が 578 名となっている。この対象者のうち、2 次健診実施者は 327 名で、56.6%の方が 2 次健診を実施。</p> <p>結果については、一定の基準値を設け、基準値を超えた方に医療機関への受診勧奨やかかりつけ医の判断のもと 2 次医療機関への紹介を行っていく。今後も、飯塚医師会をはじめ飯塚医療圏での協力のもと取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 次回開催時期は、県より確定の納付金及び標準保険料率の確定値提示を受けた後の年明けで調整を行う。</li> </ul> <p>3 閉 会</p>
<p>会議資料</p>	<p>令和元年度 第 2 回飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会資料 要約資料 飯塚市国民健康保険事業の運営に関する協議会資料</p> <p>資料 1 国民健康保険税税率改定に関する収支判定資料（30 年度） 資料 2 国民健康保険税税率改定に関する収支判定資料（2 か年度） 資料 3 令和元年度スケジュール（案）について 資料 4 特定健診 2 次健診（微量アルブミン尿検査）について</p>
<p>公開・非公開 の別</p>	<p>① 公開            2 一部公開            3 非公開 (傍聴者 0 名)</p>
<p>その他</p>	